

平成 21 年度用高等学校理科 高等学校 物理Ⅱ改訂版（物Ⅱ009）

平成 22 年度用教科書では以下について訂正致します。ご迷惑をおかけ致しますことをお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しまして、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。 (株)新興出版社啓林館編集部

改善のための訂正

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
138	5	式(12)より	式(12)を用いて
155	問 5	①誘導電流 I ②棒を流れる電流が受ける力 f ③力 f が単位時間あたりにする仕事 P ④単位時間あたりに発生する熱量 Q	①誘導電流 ②棒を流れる電流が受ける力 ③図 8 の力 F が単位時間あたりにする仕事 ④単位時間あたりに発生する熱量
189	9	をその物質の蒸発熱という	を、その物質の蒸発熱という
	11	表わす	表す
214	9	160J	168J
	14	(1)20J / (mol・K) (2)8.0×10 ² J (3)8.0×10 ² J	(1)21 J / (mol・K) (2)8.4×10 ² J (3)8.4×10 ² J
215	12	20J / (mol・K)	21 J / (mol・K)
	13	1.1×10 ³ J	1.2×10 ³ J
250	11-12	このグラフから、4.9V ごとに電流の減少が現れるのがわかる	増加していた電流が減少しだすという現象が 4.9V ごとにみられる
	21	超えたところでも電流の減少が現れるのは	超えた所でも増加していた電流が減少しだすという現象が現れるのは
292	7	予言され、 (脚注を新設します)	予言され、*1 * 1 1973 年、小林誠と益川敏英は、実験で観測される物質と反物質の非対称性(CP 対称性の破れ)を説明するには、クォークが 6 種類以上(3 世代以上)必要であることを理論的に指摘した。
	8	実験で間接的に確認されている	実験で確認されている
293	22	現在、スイスにある欧州共同原子核研究所(CERN)に建設中の陽子・陽子衝突型加速器(LHC)で、この粒子の発見が計画されている。	スイスにある欧州共同原子核研究所(CERN)で 2008 年 9 月に稼働を始めた陽子・陽子衝突型加速器(LHC)は、この粒子の発見を重要な目標の 1 つとしている。
⑥	右下	φ	φ, ϕ